

東京栄養サミット2021について

資料1

- 「栄養サミット」は、ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会を契機に英国が開始した栄養改善に向けた国際的取組で、2013年にロンドンで、その後2016年にリオで開催され、本年、東京で開催予定。
- 東京開催では、これまで議論の中心であった低栄養だけではなく、低栄養と過栄養が併存する「栄養不良の二重負荷」をも対象とした上で、これらの解決に向けた議論を予定。
- 厚生労働省は我が国の栄養行政を中心的に担う省庁として、これまでの栄養政策の知見・経験を基に本サミットに参画し、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けて、さらに今後の栄養に関する国際貢献（諸外国での栄養政策の立案・展開支援）につなげていく。

【開催概要】

日程・場所	2021年12月7日（火）、8日（水）に都内にて開催 ※ 当初は2020年12月に開催予定であったが、2021年12月に延期となった。
主催	日本政府（外務省・厚生労働省・農林水産省他）
想定される出席者	各国政府、国際機関、学術機関、市民社会、民間セクター等
目的	世界の栄養改善の現状と課題を確認し、課題解決のための国際的な取組を推進する。
開催形式	<p>(1) ハイレベルセッション</p> <ul style="list-style-type: none">・ 国、国際機関等のハイレベルが栄養課題の解決に向けたコミットメント（誓約）を表明し、最終的に成果文書を採用予定。 <p>(2) テーマ別セッション</p> <ul style="list-style-type: none">・ 様々な栄養課題の解決に向けて技術的・専門的議論（※）を行う。 <p>（※）「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）への栄養の統合」等の3つのテーマを設定。</p> <p>このほか、（1）及び（2）と重複しない時間帯に政府主催イベント（厚生労働省担当分あり）を開催予定。</p>